平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名　株式会社 王将フードサービス　　上場取引所　大
コード番号　9936　URL　http://www.ohsho.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大東　隆行
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　経営企画部長　(氏名) 鈴木　和久　TEL 075-592-1411

四半期報告書提出予定日　平成24年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	17,705	3.8	1,929	△7.2	1,973	△2.4	1,143	1.1
24年3月期第1四半期	17,060	2.4	2,079	△13.7	2,021	△18.1	1,130	△3.7

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　1,162百万円　(△6.8%)　24年3月期第1四半期　1,247百万円　(6.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	56.64	―
24年3月期第1四半期	56.06	56.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	57,883	35,650	61.6
24年3月期	55,993	35,093	62.7

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　35,650百万円　24年3月期　35,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	30.00	―	30.00	60.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		30.00	―	30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,241	5.7	4,942	8.0	5,021	9.9	2,860	12.2	141.70
通期	74,903	5.5	9,685	5.4	9,828	6.0	5,658	17.7	280.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	23,286,230 株	24年3月期	23,286,230 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,099,828 株	24年3月期	3,099,808 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	20,186,417 株	24年3月期1Q	20,170,744 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

＜ 連 結 経 営 成 績 サ マ リ ー ＞			
	金額	構成比	前年同期比
売上高	17,705 百万円	100.0 ％	3.8 ％増加
営業利益	1,929 百万円	10.9 ％	7.2 ％減少
経常利益	1,973 百万円	11.1 ％	2.4 ％減少
四半期純利益	1,143 百万円	6.5 ％	1.1 ％増加
・ 全店客数前年同期比０．７％増(既存店５．１％減)…直営店実績 ・ 既存店売上高対前年同期比１．７％減収…直営店実績			

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界で進行している超低金利現象とカネ余りは「利益の最大化を原理とする資本主義にとって歴史的な危機」（日経ヴェリタス第223号、水野氏の言葉より抜粋）とも語られる中で、電力供給に対する不安、消費税増税議論に伴う消費マインドの低下、欧州債務危機問題に伴う円高の長期化等により、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、消費者の食の安全性に対する関心がより一層高まる中、低価格競争の激化、大型台風による大雨・天候不順、そして計画停電に対する懸念等の要因により、引き続き厳しい経営状況が続いております。

このような状況下当社グループは、47都道府県の未出店地域への出店を積極的に行っており、４月には北海道内３号店となるアリオ札幌店を、５月には長崎県と高知県へ初出店致しました。また出店を精力的に進めるにあたって人材育成にも注力し、接客研修を強化する一方、前年に引き続き今年も新入社員約200名の採用を致しました。新入社員には、お客様に感動を与える為の第一歩として、安心安全で美味しい料理をスピーディーに提供すべく調理技術を高めるよう指導しております。

節電対策と致しましては、太陽光発電機設置、照明のＬＥＤ化に加え、ダクトからの排風を利用した小型風力発電装置、茹麺機からの排熱を利用した発電装置を一部店舗に設置する等の施策を実施しております。

また５月28日に株式会社日本格付研究所（ＪＣＲ）より、長期優先債務格付を「ＢＢＢ＋」から１ノッチ格上げとなる「Ａ－」を取得致しました。これは外食業界で唯一であり、お客様、株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様のご支援の賜物と謝意を表するとともに、より一層効率の良い店舗運営を心掛け、全社一丸となってより強固な企業作りに邁進して参ります。

店舗展開の状況につきましては、当連結会計年度の出店計画に基づき、関東、関西地区を中心に直営11店、フランチャイズ（以下ＦＣという）４店の新規出店、ＦＣ１店の閉鎖を行っております。これにより期末店舗数は、直営424店、ＦＣ216店となりました。

① 売上高

連結売上高は、前年同期に比べて６億44百万円（3.8%）の増収で177億５百万円となりました。

② 営業利益

新店効果による増収がありましたが、電気・ガス代や人件費、減価償却費等の増加があり、前年同期に比べて１億50百万円（7.2%）減少し、19億29百万円となりました。

③ 経常利益

前年同期の東日本大震災義援金計上といった特殊要因はありませんでしたが、上記理由等により、前年同期に比べて47百万円（2.4%）減少し、19億73百万円となりました。

④ 四半期純利益

法人税率の引き下げ等により、前年同期に比べて12百万円（1.1%）増加し、11億43百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第１四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ18億90百万円（3.4%）増加し、578億83百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ14億８百万円（13.5%）増加し、118億51百万円となりました。主な要因は現金及び預金の増加等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ４億81百万円（1.1%）増加し、460億31百万円となりました。主な要因は建物及び構築物の増加等であります。

（負債の部）

当第１四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ13億33百万円（6.4%）増加し、222億33百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ１億73百万円（1.2%）減少し、140億71百万円となりました。主な要因は未払法人税等の減少等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ15億７百万円（22.6%）増加し、81億61百万円となりました。主な要因は長期借入金の増加等であります。なお、借入金の残高は124億90百万円となりました。

（純資産の部）

当第１四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ５億57百万円（1.6%）増加し、356億50百万円となりました。主な要因は四半期純利益が11億43百万円になったことや配当金の支払い６億５百万円による減少等であります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の62.7%から61.6%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第１四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ12億28百万円増加し、100億97百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期より５億39百万円（37.7％）減少し、８億90百万円となりました。主な要因は法人税等の支払額の増加であります。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益19億48百万円に減価償却費７億41百万円等を加えた額から法人税等の支払額20億64百万円等を減じた額であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期より１億45百万円（14.3％）増加し、11億65百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出の増加であります。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出11億35百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、前年同期より55百万円（3.8％）増加し、15億２百万円となりました。主な要因は配当金の支払額の減少であります。

主な内訳は、借入金の純増加額21億８百万円等による収入、配当金の支払額６億５百万円等による支出であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当初（平成24年５月14日決算発表時）の見通しに対して、業績予想は変更しておりません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,922	10,146
売掛金	162	155
商品及び製品	93	103
原材料	245	265
その他	1,028	1,193
貸倒引当金	△9	△12
流動資産合計	10,443	11,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,214	40,990
減価償却累計額	△26,505	△27,033
建物及び構築物（純額）	13,709	13,956
機械装置及び運搬具	2,491	2,496
減価償却累計額	△1,738	△1,781
機械装置及び運搬具（純額）	752	715
工具、器具及び備品	3,613	3,721
減価償却累計額	△2,810	△2,894
工具、器具及び備品（純額）	803	827
土地	21,188	21,188
建設仮勘定	581	783
有形固定資産合計	37,035	37,471
無形固定資産	70	65
投資その他の資産		
投資有価証券	1,464	1,493
差入保証金	4,332	4,345
その他	2,736	2,745
貸倒引当金	△90	△89
投資その他の資産合計	8,444	8,494
固定資産合計	45,550	46,031
資産合計	55,993	57,883

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,780	1,579
短期借入金	210	1,050
1年内返済予定の長期借入金	6,202	5,976
未払法人税等	2,149	941
賞与引当金	606	213
その他	3,296	4,310
流動負債合計	14,245	14,071
固定負債		
長期借入金	3,969	5,464
退職給付引当金	515	497
資産除去債務	552	571
その他	1,617	1,628
固定負債合計	6,654	8,161
負債合計	20,900	22,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,166	8,166
資本剰余金	9,031	9,031
利益剰余金	26,678	27,216
自己株式	△5,016	△5,016
株主資本合計	38,859	39,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132	150
土地再評価差額金	△3,899	△3,899
為替換算調整勘定	△0	1
その他の包括利益累計額合計	△3,766	△3,747
純資産合計	35,093	35,650
負債純資産合計	55,993	57,883

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	17,060	17,705
売上原価	5,053	5,158
売上総利益	12,007	12,547
販売費及び一般管理費	9,927	10,617
営業利益	2,079	1,929
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	18	18
ＦＣ加盟料	33	29
受取地代家賃	17	16
雑収入	14	12
営業外収益合計	86	78
営業外費用		
支払利息	16	13
賃貸費用	7	7
東日本大震災義援金	114	－
雑損失	6	12
営業外費用合計	144	33
経常利益	2,021	1,973
特別損失		
固定資産除却損	20	25
特別損失合計	20	25
税金等調整前四半期純利益	2,001	1,948
法人税、住民税及び事業税	970	902
法人税等調整額	△100	△96
法人税等合計	870	805
少数株主損益調整前四半期純利益	1,130	1,143
四半期純利益	1,130	1,143

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,130	1,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115	18
為替換算調整勘定	0	1
その他の包括利益合計	116	19
四半期包括利益	1,247	1,162
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,247	1,162
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,001	1,948
減価償却費	707	741
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	2
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△2	△17
受取利息及び受取配当金	△21	△20
支払利息	16	13
固定資産除却損	20	25
たな卸資産の増減額（△は増加）	△33	△29
仕入債務の増減額（△は減少）	△105	△201
未払消費税等の増減額（△は減少）	136	41
その他	448	445
小計	3,165	2,948
利息及び配当金の受取額	21	20
利息の支払額	△16	△14
法人税等の支払額	△1,740	△2,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,430	890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	1	4
有形固定資産の取得による支出	△928	△1,135
貸付けによる支出	△94	△3
貸付金の回収による収入	39	24
差入保証金の差入による支出	△87	△93
その他	48	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,019	△1,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	950	840
長期借入れによる収入	3,348	3,258
長期借入金の返済による支出	△2,116	△1,989
社債の償還による支出	△40	－
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	11	－
配当金の支払額	△705	△605
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,447	1,502
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,858	1,228
現金及び現金同等物の期首残高	7,223	8,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,081	10,097

（４）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）

該当事項はありません。